

こどもまんなかオーガニック給食セミナー 第1回

— 食べることは生きること。つながること、未来を拓くこと —

LEARN ABOUT THE EDIBLE SCHOOL YARD を学ぼう

令和8(2026)年7月に小山市で「第3回 全国オーガニック 給食フォーラム in 小山」が開催されます。フォーラム開催に向けて「当事者であるこどもたちが主体となるオーガニック給食のあり方」を考える機会をつくっていきます。今回は、その第1弾として「エディブル・スクールヤード(ESY)を学ぼう」を開催します。1995年にアリス・ウォーターズによってカリフォルニア州バークレー市の公立中学校で創設されたESYの考え方と実践は、「食べること」と「いのちのつながり」を学校で教えることが求められる現代において、画期的な教育モデルとして注目され広がりを見せています。映像上映とともに県内の実践者からの報告も行います。ご参加をお待ちしています。



©2024 アリス映像プロジェクト/Ama No Kaze

「食べることは生きること
～アリス・ウォーターズのおいしい革命～」
詳しくはこちらから▶



報告者紹介



君島佳弘さん

2018年に栃木県茂木町で農家民宿を開業。「里山ごはんの学校」を企画・運営。2021年NHK大河ドラマ「青天を衝け」では農業指導を担当。2024年アメリカ・カリフォルニア州でのエディブルスクールヤード研修に参加



野原典彦さん

「ナチュラルフード森の扉」代表。自然栽培の青果などの販売(宅配・マルシェ)を行う傍ら「自産自消」「シェアする農業」を掲げ、茂木町の「小深在来大豆」や旧足尾地区の「唐風呂呂大根」などの在来種の保存活動、市民参加型の遊休農地での在来サツマイモの栽培、棚田復活の取組みなどを行う

託児があります

必要な方は申込時に該当箇所にご記入ください。報告者の野原典彦さんから「竹のプランターで育てる大豆のセット(竹のえんむすび)」のプレゼント(数量限定)があります。